

第7回 市長と語るタウンミーティング実施報告書

担当部	教育委員会
テーマ	コロナ禍における学校教育
日時	令和3年2月6日
場所	国立駅前くにたち・こくぶんじ市民プラザ オープンスペース
出席者	市長 教育長 教育次長 事務局職員3名
参加者数	14名
主な意見	<p><学校の臨時休業について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 去年の臨時休業をどう総括しているか。 <p><国立市の学校教育について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国立市の学校教育は平成の時代と比べてどう変わっているか。 ・ 小学校・中学校における、生きる力を身に着けさせる教育は非常に重要。国立市は健全な教育をしているのだな、と感じた。 ・ ICT環境を活用したオンライン授業について。 <p><児童・生徒への指導について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SNSやオンラインゲーム等に関する指導について。 ・ 特別支援教育における、人との接し方の指導は、とても大切なことだと思う。すべての子どもに伝えるべき内容ではないか。 <p><学校における子どものサポートについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもをサポートしてくれるスタッフをもっと入れてほしい。 ・ 学校は地域の方のボランティアを入れられないのか。
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、参加人数を制限し、換気を徹底して密を避けながらの開催となった。 ・ 質問者用マイクについては、都度アルコール消毒を行った。 ・ 市民の感想や意見を聞く時間をもう少し確保できるとよかった。 ・ 保護者向けの開催告知に、教育委員会のメール配信等を活用できるとよかった。